

○プリオン専門調査会(第138回)(Web併用会議)

日時:令和7年12月5日(金)10:00~11:36

議事概要:

(1)牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直し(SRMの範囲)に係る食品健康影響評価について

- ・牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直し(SRM の範囲)の「評価書(案)たたき台」について、事務局より前回までの調査会での審議を踏まえた修正等の説明及び専門委員より実験動物を用いた感染実験に係る知見に関する説明が行われ、それらを踏まえて審議が行われた。また、「V.ばく露状況」に関しては、横山座長より起草会議における議論の概要について説明後、事務局から補足の説明が行われ、その後、審議が行われた。
- ・審議の結果、概ね専門委員の同意が得られ、次回は、リスク判定を含む以降の項目について審議を行うこととなった。

(2)ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る食品健康影響評価について

- ・第 136 回プリオン専門調査会において継続審議となったポーランドの「評価書(案)」について、事務局から説明があり、その後、質疑応答が行われた。
- ・審議の結果、諮問事項の「国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値(30 か月齢)を引き上げた場合のリスク」に関し、ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓の月齢制限を「条件なし」としたとしても、「人へのリスクは無視できる」と評価された。
- ・評価書(案)の文言修正については座長一任とされ、食品安全委員会に報告することになった。

以上